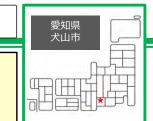
視察受入れ:可 報道機関受入れ:可



「障害がある人もない人も一緒に働ける居場所を創る」ことを目指して、6次産業化をベースとした農福 連携に取り組む。

基本情報

● 所在地:愛知県犬山市

● 団体名:株式会社ココトモファーム

● 選定表彰:愛知のふるさと食品コンテス

ト優秀賞(令和3年度) 第4回あいちサービス大賞

特別賞(令和3年度)

● 主力商品: 米粉のバウムクーヘン



自家製米粉のグルテンフリーバウムクーヘン

取組の概要

- 農業部門は、農地中間管理事業を活用して引き受けた農地6haと、遊休農地を復元した0.4haを含む、8.3haで水稲を栽培(令和3年度、約30tを生産)。
- 製造部門では、市内 3 ヶ所の工房で製粉した米粉を原料に100%グルテンフリーの米 粉バウムクーヘン等の加工品を製造。
- 販売部門は、愛知県内計10店舗で米粉バウムクーヘン等の自社開発スイーツを販売。
- 米の生産から加工品の製造・販売まで自社で一貫して行うことにより、障害者一人一 人の特性に合わせて農業、製造、販売それぞれの部門で働ける場を提供。

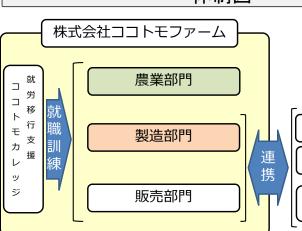


愛知県内に10店舗ある直営販売所



農福連携での稲刈り

体制図



JA西三河

株式会社名古屋鉄道

犬山市シルバー 人材センター

取組の成果

- 令和2年11月から販売した米粉バウムクーヘンが好調となり、売上げは3,280万円(令和2年)から2億3,097万円(令和3年)と1億9,818万円も増加。
- 米の生産、加工品の製造、販売までを一貫して行うことで、障害者の雇用の場を創出。障害者の賃金は35万円/年(令和元年)から132万円/年(令和3年)と97万円/年も増加。
- 障害者が販売にも携わることで消費者と交流する機会が増え、経済面だけで なく精神面の充実、やりがいの向上にもつながっている。

所 在 地 ▶愛知県犬山市橋爪石畑60番地2

連絡先 ▶TEL:0568-54-4717 E-mail:soumu@cocotomo-farm.jp

ウェブサイト▶https://www.cocotomo-farm.jp/

平成31年3月

きっかけ

障害者の社会での居場所づくりを模索していたところ、農林水産省が主催する農福連携推進フォーラムに参加したことをきっかけに、農業と福祉の連携に取り組み始める。

2 haの農地で水稲 栽培を開始

令和元年9月 「株式会社ココト

立、法人化

モファーム | を設

令和2年11月 加丁商品「米粉バ

ウムクーヘン」の

製造・販売を開始

令和元年9月

株式会社ココトモファームの設立(法人化)

- 令和元年9月に法人化し株式会社ココトモファームを設立。
- 経営理念に「ココでトモだちになろう」を掲げ、「障害がある人もない人も一緒に働ける 居場所を創る」ことを目指して、6次産業化をベースとした農福連携に取組む。
- 農地中間管理機構を活用して農業を辞めた担い手農家の農地 (6 ha) と、遊休農地 (0.4 ha) を追加した、合計8.4haの農地で水稲栽培を行う。



農福連携での種まき作業

令和2年

加工商品(米粉バウムクーヘン等)の開発・販売

- 令和2年11月から、自社製粉100%によるグルテンフリーバウムクーへン製造・販売を開始。
- 米の生産からバウムクーヘンの製造・販売まで自社で一貫して実施するなど、6次産業化をベースにした農福連携に取組む。多くの消費者と関わりを持つ商品ができたことで、障害者は消費者と交流する機会が増え、経済面だけでなく精神面の充実、やりがいを感じられる職場環境を構築。
- 直営店を含む愛知県内10店舗とインターネットでの販売により、売上げは約3,200万円 (令和2年)から約2.3億円(令和3年)に急増。
- JA西三河と連携して地域農産物を使ったメニューを提供するほか、名古屋鉄道と連携して 犬山市桃太郎神社で「桃太郎マルシェ」を共催。
- 障害がある人もない人も同じ賃金で雇用して所得向上を実現。障害者等一人当たりの賃金は、35万円/年(令和元年)から132万円/年(令和3年)に増加。



バウムクーヘンの製造

担大郎

桃太郎マルシェでの販売

今後の 展望

商品販売と障害福祉を組み合わせたモデルの全国展開

- 障害福祉施設と連携し、米粉のバウムクーヘンと障害福祉を組み合わせたモデルを全国に 展開。
- ○社会参加意識の向上と賃金や工賃の上昇、及び障害福祉施設の経営の安定化を図る。